

# 令和6年度 年間授業計画

田無工科高等学校

教科・科目	人間と社会 人間と社会		単位数	1
対象学年・組	1学年全クラス	教科担任	加藤・八木・高尾・田村・及川	
教科書 ・ 副教材	東京都教育委員会著作準教科書「人間と社会」			

教科 人間と社会 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身につける。	社会的現実にもとらされ、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察する力や、考察してことを効果的に説明したり、それを基に議論して利する力を養う。	演習や体験活動に主体的・協同的に取り組むことによって、人間取り手のあり方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の秩序と規律を理解し、自己理解を深める。共助や公助の制度や役割を理解する。「働くこと」とはどのようなことか学ぶ。	マナーと社会のルールについて考え、キャリアプランニング能力を育成する身に付ける。	社会に適応できる知識を身に付け、お互いを支えあう態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
1 学 期	「はじめに」 「序章 人間と社会～学修の視点～」【知識及び技能】主体的に自己や社会の課題を派遣する 【思考力、判断力、表現力等】情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する 【主体的に学習に取り組む態度】社会に一員であることを自覚する	「人間と社会」の趣旨、特徴、目標	【知識・技能】 課題に対して、適切に対応する知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 課題の内容を分析し、適切に判断して自分の意見を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に学習に取り組み、他者と協働して学習する努力をしている。	○	○	○	1
	第1章「人間関係を築く」 【知識及び技能】課題に対して、適切に対応する知識・技能を身に付けてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】課題の内容を分析し、適切に判断して自分の意見を表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】意欲的に学習に取り組み、他者と協働して学習する努力をさせる。	「人間関係を築くこと」について	【知識・技能】 課題に対して、適切に対応する知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 課題の内容を分析し、適切に判断して自分の意見を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に学習に取り組み、他者と協働して学習する努力をしている。	○	○	○	3
	第2章「学ぶことの意義」 【知識及び技能】知識及び技能 課題に対して、適切に対応する知識・技能を身に付けてさせる。 【思考力、判断力、表現力等】課題の内容を分析し、適切に判断して自分の意見を表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】意欲的に学習に取り組み、他者と協働して学習する努力をさせる。	「学ぶことの意義」について	【知識・技能】 課題に対して、適切に対応する知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 課題の内容を分析し、適切に判断して自分の意見を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に学習に取り組み、他者と協働して学習する努力をしている。	○	○	○	12

